

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 大森病院外化学療法室における過敏反応(HSR)とインフュージョンリアクション(IR)の発現症状とそのリスク因子に関する検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 薬剤部 職位・氏名 薬剤師・難部仁美

【試料・情報の利用目的】

取得した情報は、東邦大学医療センター大森病院がんセンターにおいて、抗がん剤使用患者の中で過敏反応(通常は無害な物質に対して免疫系が起こす異常な反応)・インフュージョンリアクション(分子標的治療薬の点滴時に見られる副作用)が発現した薬剤を使用していた患者のリスク因子を探索することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、過敏反応・インフュージョンリアクションを発症する予測因子を明らかにすることでその予防と症状発現時の対応について院内の標準化を行うことで、がん化学療法をより安全・安心に実施することにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することはありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年2月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者:2022年1月1日～2023年12月31日までに東邦大学医療センター大森病院外来化学療法センターにおいて、化学療法による治療を受けた方

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータ(既往歴、癌種、合併症、使用薬剤、投与量、年齢、性別、アレルギー歴の有無等)を解析します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 研究代表者:難部 仁美 役職:薬剤師

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 薬剤師 難部

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 薬剤師 難部

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2027年3月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部

職位・氏名 薬剤師 難部 仁美

電話 03-3762-4151 内線 3480